



「サッカー好きな子 みんな集まれ〜!!」

FCパルセイロジュニア



「パルセイロ」とはポルトガル語で「親しき仲間」という意味で、サッカーを通じてたくさん仲間を作ろうという想いが込められています。

左の写真のエンブレムは、毛呂山町の地図の上に伝統行事である流鏝馬をモチーフにしたものです!

パルセイロは、毛呂山町で唯一のサッカー少年団で、町内4つの小学校から仲間が集まっています。学校では会えないサッカーの好きな1年生から6年生まで、たくさん仲間を作ることができます。

パルセイロでは、毎年1月3日には、子どもからお父さん、お母さん、コーチそしてJr.ユース・社会人・レディースのチームの選手も一緒に、クラブ全員でサッカーを楽しむ初蹴りを行っています。

そう、お気付きでしょうか。私たちはクラブでもあります。クラブ内



にはJr.ユースのチームもあり、小・中学9年間一貫の育成をしています。せっかく少年団でよい育成をしても多感な中学生期

にその育成を止めてしまっ
ては何にもな
りません。こ
の一貫した育
成がクラブを
支えてくれて
います。現に
このJr.ユース
出身の選手た
ちが社会人チ
ームで活躍し
、またコーチと
して育成を手
伝い、地域に
根ざしたクラ
ブとして確立
しています。
サッカーを通
じて仲間作り
、楽しみ、毛
呂山町を担う
大人になっ
てくれること
を願っています。
そんなパルセ
イロですが、
まだまだサッ
カー大好きな
仲間を募集中
!初めてでも
大丈夫。サッ
カーボールで
遊ぶのが好き
ならOK! 君も
パルセイロの
かっこいいエン
ブレムをつけて
サッカーをし
てみないか!!



練習日 土・日・祝日の午後1時〜
日没
場所 泉野小学校グラウンド
会費 年会費24000円
問合せ FCパルセイロジュニア
090-1129-7344 石井

歴史文化財 文化財シリーズ227 阿諏訪の獅子頭

歴史民俗資料館で、11月23日から開催している第17回特別展「尾根を越えた獅子舞」では、現在行われている町内4か所の獅子舞のほか、かつて行われていた出雲伊波比神社の獅子頭と阿諏訪日枝神社の獅子頭も展示公開しています。

阿諏訪でもかつては、日枝神社で獅子舞を行っていました。日枝神社は明治40年(1907)に雷電神社に合祀され、今は跡形もありませんが、獅子頭は大切に保管されています。

明治25年(1892)11月2日の祭礼記録には、祭典役者の内訳が次のとおり記録されています。「だし(1人) / 貝(2人) / はやし子(11人) / ささら子(4人) / 大狂(1人) / 獅(3人) / 笛(7人)」(阿諏訪区有文書より。かっこ内の人数は古文書に記載されている名の人数)阿諏訪日枝神社の獅子舞は、合祀後

も雷電神社に場所を移して明治の終わりごろまで行われていたといわれています。

この記録から阿諏訪の獅子舞の様子を推測してみると、「獅(子)」役は3人で、導者である「大狂い」が1人つき、ササラを奏でる花笠が4人、笛が7人と町内の他の獅子舞とよく似た獅子舞の形式だったようです。「だし」は「万灯」を指し、「貝」は「ほら貝」を吹く人でしょう。さらに獅子を奏でる人ひとが多いたようです。神楽などで使われる古面が数点見つかっていますので、祭礼日には神楽も賑やかに行われたのではないのでしょうか。

獅子の呼び方は、男獅子・女獅子・中獅子といい、滝ノ入の獅子舞と同じです。獅子頭の形もどこか滝ノ入の獅子頭と似ているようです。

阿諏訪の獅子舞は今は見ることができませんが、古い記録から在りし日の姿を垣間見ることが出来ます。

獅子頭を見て、阿諏訪の獅子頭が軽やかに舞っていた姿をぜひ想像して下さい。



かつて使われていた阿諏訪の獅子頭